

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームつつじⅡ(第3ユニット)	評価実施年月日	平成20年8月1日～平成21年2月4日
評価実施構成員氏名	角田 伊織・新保 由佳・蠣崎 麻美・荒谷 里美		
記録者氏名	角田 伊織	記録年月日	平成21年2月15日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>独自の理念があります。理念は会議や社内研修等を通して共有し、フロア入り口等にも掲示しています。</p>	○	今後も理念を基にサービスを提供していきたいと思います。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>スタッフの目につきやすい、フロア入り口やエレベーター内にも貼り、社内研修にも取り入れています。</p>		常に理念を心掛け、支援していきたいと思います。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>皆さんが出入する玄関や、使用するエレベーター内にも掲示しています。</p>		運営推進委員会を通じ、民生委員やご家族の方と日々の暮らし等について話し、意見交換を続けていきたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>散歩時や通勤時に、隣近所の方にご挨拶をしています。</p>	○	お互いの行事に参加する機会を継続し、気軽に声を掛け合える関係を深めていきたいと思います。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>地域の施設や小学校などの催しに参加させて頂いたり、ホームのお祭り等に招待したりしています。</p>	○	近隣住民さんとの交流を、さらに深めていきたいと思います。
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>花壇作りや夏祭りのお手伝いをして頂いています。</p>		今後も協力をお願いしたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>評価を理解し、職員全員で受け止め改善に取り組んでいます。</p>	○	不足部分を補い、より良いホームにしていきたいと思います。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1度開催し、地域の方やご家族の方と話し合い、サービス向上を目指しています。</p>		意見交換の中から、サービス向上へ活かしていきたいと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>機会を作るよう努力していますが、調整が難しく行なえていません。</p>	○	市町村と連帯し、サービスの質の向上に取り組んで行なえる様努力していきたいと思います。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修で学んでいますが、該当者はいません。</p>		その機会があれば、検討したいと思います。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待防止シンポジウムに参加しています。社内で身体拘束委員会を設置し、社内研修にも定期的に取り入れています。</p>		外部講習や研修に参加し、社内で伝達講習を行ない、職員全員で認識していきたいと思います。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>ゆっくり説明し質問等がないかどうか、確認を行い不安をなくして頂けるようにしています。</p>		今後もトラブルのない様、しっかりと説明を行なっていきたいと思ます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常生活で不満はないか、聞く様になっています。		大きくならないうちに、希望を取り入れる努力をしています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時に健康状態や暮らしぶりについてお話、頻繁に来られない方には電話でお話しています。又、2ヶ月に1度、お便りと金銭帳を送っています。		今後とも、続けていきたいと思っています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	市や国保連等の外部機関の説明をした上で、ホームにも窓口がある事を伝えています。	○	ご意見等があれば、運営に活かしていきたいと思っています。又、気軽に話して頂ける様、努めていきたいと思っています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に意見交換の場を設けています。		直接介護している声を重視しています。今後も継続していきたいと思っています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	体調の変化等があった時に、応援体制があります。		今後も続けていきたいと思っています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時、離職時には、いつもより見守りや心配りの強化に努めています。		今後も関わりを多く持つ様にし、少しでも寂しさや不安を解消して頂ける様に、努めていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	社内研修を、月1回行なっています。実践者研修や市役所等で行なっている社外研修にも参加しています。	○ 今後も積極的に社内研修や社外研修を取り入れ、参加していきたいと思います。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	道内のグループホームに積極的に見学に行き、質の向上に努めています。	○ 今後も質の向上の為に、行なっていきたいと思います。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	職員が気軽に話せる状況にあると思います。	個人的に親しい人が声を掛け、話を聞いたり相談にのっています。必要に応じて、先輩や上司に対応してもらっています。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	それぞれの職員が能力を発揮できる様に、心掛けています。又、勤務状況を把握し、資格の修得研修をすすめています。	個々の考えを話したり、実行できる様に配慮し、自信につながる様にとっています。又、研修後の伝達講習、社内研修の開催に努めています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	入居前にお会いし、ご利用者様から話を聞いています。	入居前の見学を勧め、これからの生活の場を見てもらっています。不安の内容を聞き、具体的な生活援助を提案しています。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族が置かれている状況や悩みについて傾聴し、ご家族を支援できる様に努力しています。	御ご家族の協力を得ながら、無理のない様に進めています。生活の場面を、電話や面会時に細やかに説明しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご利用者様とご家族の話を傾聴する事によって、利用者やご家族のニーズを見極め、最善の選択ができる様に協力しています。		相談を受けた時は、安易にサービス利用と決め付けず、ご利用者様が必要なサービスを利用できる様対応しています。必要であれば他のサービスの紹介等も行なっています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	見学の際、職員を紹介し、入居時に少しでも馴染みになっている様に配慮しています。		食事に希望があれば応じる用意があります。また、催しに参加するようにお勧めしたりします。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	今できる事を一緒に行ない、教えて頂く機会を作っています。人生の先輩として接する様に心掛けています。		これからもご利用者様から、教えてもらう姿勢と、お互いに支え合う気持ちを持ち続けたいと思います。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様に関する事は、ホームだけの問題とせず、何でもご家族に相談する様にしています。又、ご家族からの意見も取り入れて、サービス提供に活かしています。	○	ご家族と密に連絡をとり、些細な事でも話し合っていきたいと思っています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	これまでの生活歴等を確認して、ご利用者様とご家族の関係を理解する様にし、ご家族関係が良好に保てる様に支援しています。		ご利用者様の心身の状態から、十分に話し合えていると思います。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居時の友人関係や交流関係を確認し、継続できる様にしています。	○	友人関係が崩れぬ様、希望に合わせて支援しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の生活や性格に配慮し、仲間作りの援助しています。		家事や余暇活動の際、仲間作りのきっかけを作る様にしています。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	終了時も、相談に応じたいと伝えています。		お会いした時は声を掛けています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様やご家族に話し、希望を聞き、その方にあった生活を送って頂ける様に、心掛けています。	○	今後もご利用者様、ご家族と話をし、暮らしやすい環境を作る様に心掛けます。職員間でも話し合い良い方向にいく様に、努力していきたいと思います。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者様、ご家族から出来るだけ情報を聞き、状況を捉えています。		今までの好みや習慣を損なわない様にしています。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の関わりの中で、心身状態の把握を行っております。	○	職員同士の情報交換を強化していきたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	会議を開き意見やアイデアを話し合い、ご家族の面会時に意見をお聞きしています。		ご利用者様からは生活を共にしながらお聞きしています。ご利用者様、ご家族の意見やアイデアを反映する事はケアの基本と認識しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	必要に応じて、新たに作成しています。	○	これからも現状に適したプランにそって、生活支援をしていきたいと思っています。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個人ごとの介護記録を記入しています。休みの職員は、出勤時に休んでいる間の記録を確認し印を押す様にしています。		申し送りノートを活用し、情報交換を実践しています。具体的にどうすれば良いか取り組んでいます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	季節の行事の参加、申請書類の手続き等協力を得ています。		夏祭りの実施、ボランティアの呼び掛け等の協力があります。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員の方は運営推進委員会へ参加しています。消防による救急救命講習は年2回あり、地域の小学校では学習発表会や運動会等へ招待して頂いています。又、幼稚園の生徒達が中庭に来て、歌や踊り等を披露して下さい、交流を持つ事が出来ました。ボランティアによる歌会や茶道、マッサージの先生による、ボランティア活動等もあり、協力しながら支援を行なっています。	○	今後も交流の場を広げながら、継続して支援していきたいです。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のケアマネジャーや事業所と連絡をとっています。		ケアマネジャーにもホームの見学を勧めています。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要時に相談したいと思っています。		必要時に相談したいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	入居時に、ご利用者様やご家族様と入居後のかかりつけ医について相談し決めています。ホームの協力病院を希望されたら、ご紹介しています。		病院から受けた指示や病状の説明、ご家族に説明を行なっています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院に相談しています。		協力病院で優先的に診療する時間を設け、対応してくれています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院に相談しています。		健康状態を伝え、Drとの橋渡しをしてくれています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	病院やご家族から、経過の状態を知らせてもらったり、実際に病院に行き確認し、連携して早期に退院できる様に務めています。		入院時はご家族、病院と連携を取り合い情報交換をして退院に向けての相談を受けています。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	主治医、ご家族と早い段階から、十分に話し合いをして方針を決めています。		必要に応じ、その方にあつた機関の利用を支援しています。重度化や終末期に向けての方針作成への取り組みも行なっています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご利用者様、ご家族の意向を十分にお聞きして、主治医とも相談しながら、一番適した環境で安心して過ごせる様に支援しています。	○	今後もより良く生活できる様に支援していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>情報交換を行なっています。ご利用者様、ご家族が納得いくまで、見学して頂いています。</p>		<p>ご利用者様、ご家族の希望に合わせて対応しています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人生の先輩として、尊敬の念を忘れない様心掛けています。</p>		<p>人生の先輩として尊重しています。記録はご利用者様が話した事を、そのまま記録するよう努めています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の話を良く聴き、自己決定ができる様な声掛けを行ない、納得して頂ける様に支援しています。</p>		<p>どんな事も話してもらえる様、努めています。具体的に場所や人を変える等して、試しています。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ご利用者様が趣味を活かし、生き生きとした生活が送れる様に支援しています。</p>	○	<p>これからもご利用者様一人一人のペースに合わせて、その人らしい生活ができる様に支援していきたいです。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>ご利用者様やご家族の方に選んでもらっています。地域の美容室に行く機会を設けています。</p>		<p>季節や外気温に合っているかをか見守り、おしゃれのアドバイスを求められた時は、一緒に楽しむ様にしています。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>ご利用者様と職員が同じ食卓に座り、楽しく食べれる様に支援しています。又、何が食べたいか等聞き、ある食材で工夫し調理しています。季節メニューも提供し、美味しく食べられよう努めています。食事の準備、後始末はできる範囲内で、楽しく行なってもらっています。</p>		<p>嫌いな物が出た場合には、他の物を提供し、個人の好みに合わせた食事ができる様に支援しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	嗜好については、ご利用者様の希望に合う様に配慮しています。		喫煙等の御希望が出た場合は、できるだけ楽しんでもらえる様に支援していきたいと考えています。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	トイレ誘導や声掛けが必要な時には、さりげなくサポートしています。失禁による不快感を軽減し、できる限りトイレで排泄する事ができる様、支援を行なっています。		排泄リズムを把握し、定期的に誘導したり声掛けしたりしています。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	のんびり入浴を楽しんでもらえる様、ご自分のペースに合わせて頂いています。		お湯に浸かる時間は個々のペースに合わせていますが、身体への負担が考えられる場合は、声を掛けさせてもらっています。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活リズムを知り、大切にしています。又、夜間の巡視にて安全の確認を行ない、安心してゆっくりと休む事が、できる様支援しています。		夜にリビングでテレビを観て過ごされる方、自室で本を読まれる方等、個々の生活リズムを知り大切にしています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日々の生活の中で、個々に合った楽しみを提供したり、家事の取り組みを心掛けています。		家事の得意な方、人に物を教えていた方等、過去の生活を重視しながら、支援しています。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご利用者様が希望された場合には、ご利用者様やご家族様と相談し金額が大きくなりすぎない程度で所持してもらっています。		どこに置いたか忘れてしまう事がある為、希望を聞きご家族と相談しながら対応しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ご利用者様の希望に沿える様に努力しています。		近隣への散歩、中庭や畑の散歩等にお誘いしています。又、状態に合わせて片道に車椅子を使う等、負担を少なくする様にしています。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	季節の景観を楽しむ事を取り入れています。春の花見、秋の紅葉狩り、学校行事の参加、近隣ホテルの収穫祭、複合施設の夏祭り等に出掛け、交流を図りながら、季節行事を楽しんでいます。	○	今後も外へ出掛けられる様な機会を、多く持つ事ができる様に努めていきたいと思ひます。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様、ご家族の希望により、友人との交流があります。		希望に合わせて、ご家族様と電話で話されています。また、ご家族様の面会や、一緒に外出したりも随時行なっています。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	お部屋やフロアでお茶を飲みながら、ゆっくりお話する事ができる様に支援しています。ホームの催し等があります時はお誘いし、一緒に楽しんでもらっています。		いつでも面会に来て頂ける様に、ご家族、友人、ご利用者様に伝えていきます。又、職員にも気軽に声を掛けて頂ける様、心掛けています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止については、委員会を開催しており、日頃から人としてどうあるべきかを話し合い、身体拘束をしない大切さを確認しています。		社内研修において、定期的に学んでもらい、再度確認してもらっています。社外研修にもできるだけ、参加してもらっています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は鍵を掛けていません。夜間は防犯上、施錠しています。		夜、遅番が退社後に掛けています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	失礼のない様、ご利用者様の所在や様子は把握し、安全への配慮を行なっています。		今後も健康状態の把握、安全の確認を行なって、自室で過ごす事が多ければ、時々様子の確認の為訪問させていただきます。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤、火気、刃物、薬は、基本的に職員が管理しています。ご利用者様の希望で、状況・用途に合せ、お渡ししている方もいます。		ご家族と話合い、了解を得ています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	マニュアルも作成し、社内研修で学んでいます。	○	個々のプランに反映し支援しています。今後も急変や事故発生時にすぐ対応できる様に、繰り返し社内研修で学んでいきたいと思っています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に夜勤者も含め、職員が研修に参加できる様にしています。		消防署の協力をいただき、救急救命の講習、フロア単位の研修等も開催しています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練、自主訓練、夜間避難訓練等行なっています。	○	運営推進委員会を通じて、民生委員、町内会の方々が集まる機会に協力を得られる様にしていきたいと思っています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	身体的、精神的な面から、主治医の指示や、ご家族からの情報を頂いて対応策を話し合っています。		転倒の危険性や誤嚥する危険性等を、ご家族に説明しています。又、行なっている対応もお伝えしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	健康状態を把握し、様子の違いに気付ける様務めています。変化があれば情報を共有し、対応に結び付けています。		毎日のバイタルチェック、食欲、歩行、話方に、いつもと違いがないか確認しています。あれば情報を交換し、共有しています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書を記録簿に綴り、確認しています。個々の薬箱があり、服薬後の表情も観察しています。受診後は、一人一人の薬を確認し、薬の袋には日付を大きく書き、服用時にはご利用者様の名前と日付を読み上げ、見守りの中確実に服用できる様に支援しています。		副作用についても薬の説明書を読み、確認しています。今後も服用の支援と症状の変化の確認に努めていきたいです。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	体操、飲食物の工夫、医師への相談等を行なっています。又、水分量、排便状態の把握に努めています。		食事バランス、水分、家事や楽しみの中から、体を動かしてもらっています。又、排便薬の調整(医師からの指示)を行なっています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後に歯磨きをして頂き、不十分な方には声掛けや一部介助を行ない、清潔が保てる様にしています。		毎食後に見守りや介助を行ない、磨いて頂いています。又、歯科衛生士の資格を持つ者もいますので、相談する事もあります。定期的に歯科へ清掃に行くご利用者様もいます。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量はおおよそ把握しており、介護記録へ記入しています。食欲のない方飲み込みの悪い方等、一人一人の状態に合わせて、お粥やミキサー食、水分にはとろみを付ける工夫をしています。		嚥下機能の低下を防ぐ為、嚥下体操や発音訓練等も取り入れています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、社内研修に取り入れています。外部から菌が持ち込まれない様にしたり、毎日の掃除には次亜塩素酸ナトリウムを使用しています。外出時にはマスクを使用し、外出後には手洗い・うがいをしています。		感染予防の為、定期的にホーム内を消毒したり、ご利用者様、職員も生姜茶を飲んだり、煎茶でうがいを毎日行なっています。感染症が出た時に備え、処理セットの用意もしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>台所、器材、布巾、シンク等は、毎日消毒を行ない、食材は鮮度の良い物を使用しています。賞味期限等を確認しています。</p>		<p>その都度、包丁やまな板等の消毒を行なうが、遅番が最後の消毒を終えたら、キッチンチェック表へ記入する事としています。 又、冷蔵庫内の消毒も定期的に行なっています。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>中庭には芝生や植木が周りにあり、癒しの空間となっています。畑にはお花や野菜を植え、玄関には草花を飾り、観葉植物を置くなど、暖かい雰囲気を出せる様に努めています。</p>		<p>中庭に設置していますテーブルやベンチは、散歩の際には近隣の方も立ち寄り下さり、お茶を飲みながらお話しされて行く事もあります。</p>
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日掃除をしており、不潔感のない様心掛けています。又、季節感を出す為飾りつけを行なったり、季節の食材を使用しています。</p>		<p>快適に過ごして頂ける様な空間作りに、今後も努めていきたいと考えています。</p>
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング、食堂等を自由に使用して頂き、気の合う仲間同士でおしゃべりを楽しめたり、個室でゆったり休まれたりと思いいの過ごし方をされています。</p>		<p>ゆっくりと暮らしていける様、今後も居場所作りを考えていきたいです。</p>
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室にはご利用者様の馴染みの家具や寝具が配置され、安心して生活できる様に配慮しています。</p>		<p>居心地の良い環境で、暮らしていきたいと思えます。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>掃除時には各部屋の窓を開け、空気の入替えを行なったり、換気扇を回しています。又、居心地の良い湿度、温度になる様に、フロアに湿度計を置き調整しています。</p>		<p>今後も居心地良く感染予防の為に、湿度、温度に注意しながら過ごしていきたいです。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内の床は前面バリアフリーで、安全に歩ける様になっています。廊下、階段、トイレには、手すりを設置しています。又、居室の入り口に手すりが必要な方には設置しています。		今後も安全にできるだけ自立した生活が送れる様、環境作りに努めたいと思っています。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ご利用者様が出来る事、出来ない事を把握し、出来ない部分については、一緒に行なって頂き、自立に向けての支援を行なっています。		職員と一緒に炊事や洗濯、掃除等、1日の活動の中で無理なく楽しく行なわれています。自信の回復を図りながら、自立に向けた支援を今後も行なっていきたいです。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭を利用し、喫茶や茶屋で売店を開いています。同じ敷地内のグループホームに入居されています皆さんと、楽しく交流できる場をして活用しています。		今後も中庭を利用し、地域の方々とも交流を深めていきたいです。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	③
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

家庭的な雰囲気の中で、ご家族の意向を聞きながら、利用者の方々が安心して安全に生活できるよう努めています。また、地域の方々の協力を得ながら交流を深め、地域に密着したグループホーム作りを目指しています。